



田原議員

Q 高額な介護保険料について。

A 1号被保険者の負担増によるものである。

(平町民生部長)

Q 町民から介護保険料が高いとの意見があるが、町当局はどう説明するのか。町民に分かりやすい広報、重点がはっきり分かるような広報への工夫が大事ではないか。

A 指摘の通り、本町の介護保険料は県内市町の中で最も高くなっている。これは、介護サービスの給付に必要な費用を負担するもので、本町のように町内に介護保険給付事業所が多く、近隣市町の介護施設を利用しやすい環境にある場合、要介護者等のサービス利用が増加することにより、一人当たりの介護保険料が割高となっている。

山野議員

Q エコステーションの今後について、どう対応するのか。

A ポイント変更により、経費の削減を図っていく。

(広田生活環境課長)



ポイントの形式が変わりました

Q 平成13年に設置された缶・ペットボトルの回収ボックス2台について、利用者も多く、当初の目的であるリサイクル意識の向上が見受けられる。しかし、維持管理費用や商品券の購入費、回収運搬等により、5年間で約1,600万円の赤字と聞いている。今後の対応については、どうするのか。

A 平成19年1月末時点において、缶・ペットボトル合わせて760万本の回収を行っており、これまで約1万3千枚の図書券や商品券をポイント交換により交付している。このことから、当初の目的は達成されてきているものと考えている。そこで、平成19年4月からは2本処理するごとに1ポイントとし、商品券購入の削減を図ることとしている。また、機械についても平成20年3月末での廃止を検討している。